

 市場価格

ドル建て

ドル/toz

Platinum	Price	Date
Open	1004.00	2023/6/5
High	1045.30	2023/6/7
Low	997.93	2023/6/9
Close	1008.53	2023/6/9

円建て

円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4548.00	2023/6/5
High	4962.00	2023/6/7
Low	4483.00	2023/6/9
Close	4535.00	2023/6/9

ドル建て

ドル/toz

Palladium	Price	Date
Open	1424.00	2023/6/5
High	1445.70	2023/6/5
Low	1299.98	2023/6/9
Close	1323.40	2023/6/9

円建て

円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	6417.00	2023/6/5
High	6518.00	2023/6/5
Low	5823.00	2023/6/9
Close	5928.00	2023/6/9



ニュースエクスペンス

ノリリスクニッケル、メタル市場レビューを発表

ノリリスクニッケルはパラジウムと高品質ニッケルでは世界最大、プラチナと鋼の生産は世界有数の生産高を誇るが、今回11回目となる、世界経済と工業データのファンダメンタルズ分析に基づくニッケル市場とPGM市場に関するレビューを発表した。以下はプラチナ需要についての抜粋。

プラチナ需要の増加は鉱山生産の回復の遅れを補い、2023年と2024年は今まで供給余剰であったプラチナ市場はよりバランスの取れた市場へと変化していくだろう。

自動車のプラチナ需要のほぼ半分を占めるディーゼル車市場は、特に欧州で縮小傾向が続いているが、プラチナによるパラジウム代替は需要前年と比べてそれほど増加はしていないが、それでも回復基調の自動車生産とともに、プラチナ需要の増加に貢献するだろう。2023年はパラジウムとプラチナの価格差が縮まったこと、欧州と米国で新たな排ガス規制が発表されたこと、さらに自動車メーカーや製造会社の投資や研究開発の多くは電動化に多く向けられていることなどから、自動車触媒のメタルの配合は当面の間は変化しないだろう。

今年の宝飾品需要の予測は低迷する一方で、工業のプラチナ需要は中国の化学産業とガス産業の生産能力拡大で約2%増えるだろう。

<https://www.nornickel.com/news-and-media/press-releases-and-news/nornickel-presents-metals-market-review-31-05-23/>

Jubilee Metals、新たな契約で南アフリカでのクロム合金と PGM 生産を拡大へ

英Jubilee Metals Group PLC は、6月6日、南アフリカのクロム合金とPGM生産を増強するための新たなパートナーシップ契約を締結したと発表した。

同契約により、ロンドンに本社を構える同社は、南アフリカのリンボ州にある、年間36万トン規模のクロム合金加工施設の改善に取り掛かる。

Jubilee社は1年以内に同施設に手を加えて年間生産72万トンに拡大する計画。

<https://www.ajbell.co.uk/articles/latestnews/261084/jubilee-metals-new-partnership-boost-sa-chrome-pgm-production>

インバラ・プラチナム、隣接するプラチナ生産会社を獲得

インバラ・プラチナムは Royal Bafokeng Platinum (RBP)の経営支配権株式(約56%)を獲得し、プラチナ生産の基盤拡大に成功した。RBPの鉱山はインバラ・プラチナムが所有するルステンバーグ地区にある鉱山施設のいくつかに隣接しており、浅い鉱床であることと、機械的な採鉱法により通していることから低コスト鉱山となっている。この合併により、ルステンバーグ地域のインバラ・プラチナムのPGM増産量と資源は大きく増え、鉱山寿命が伸びる可能性もある。RBPの2023年のプラチナ生産は 8.4トンから8.7トンとされる。これを鉱山所有者毎の生産量に換算すると、2023年に予測されるインバラ・プラチナムの生産は約13%増えてほぼ 38.9トンとなり、南アフリカの生産の約 30%を占める最大のプラチナ生産者となる。RBPを統合したことによってインバラ・プラチナムは隣接する鉱山権を得たことになり、鉱脈へのアクセス、人員、加工過程などにおいてより多くの相乗効果を期待できることになる。

https://www.herasea.com/media/media/ptm/dcc_ptm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20230505.pdf?mediaentryid=4954&fileContent=media/4954/News/05pm7top0405enx6

パラジウムの見通しは暗く、プラチナは上昇の可能性 – コメルツ銀行

コメルツ銀行のエコノミストによると、プラチナとパラジウムの今後の見通しは相変りプラチナの方が良好としている。

- パラジウム価格が上昇する可能性は少なく、2023年末の予測は1600ドル。2024年末の予測は2000ドルだったが、1700ドルに下がった
- 2023年末のプラチナ予想価格は1150ドル。2024年末の予想価格は1250ドルだったが、1300ドルに上がった
- パラジウムと対照的に、プラチナは今後数年にわたって構造的な供給不足の気配

<https://www.fcomet.com/news/jubilee-outlook-for-palladium-platinum-with-more-upside-potential-commerzbank-20230606021>

Translated by Kazuko OSAWA



WPIIC直近の活動

- 今年のプラチナ市場は、工業需要は過去最高に達し、自動車需要も増え、投資需要もポジティブに転じる一方で、供給は伸び悩む。世界最大のプラチナ消費国として、中国では水素経済の発展を支える中国の自動車と工業のプラチナ需要が注目される。また、今年で3年目を迎える上海プラチナウィーク(SPW)は6月26日(月)から29日(木)まで、インターコンチネンタル上海ハーバシティにて開催される予定。詳しくは「[プラチナ互知識—上海プラチナウィーク](https://platinuminvestment.com/files/sixtysecs/WPIIC_60secs_Shanghai_platinum_week_2023_01_06_2023_a.pdf)」をご覧ください。

- 今年供給不足と予測されているプラチナ市場を投資の好機と捉える南アの投資家は、プラチナETF保有高を年初から13.4トンも増やしているが、北米と欧州の投資家がETFの売却を続けた結果、ネットベースでポジティブ11.2トンに増えたETF投資需要は9.3トンに減った。しかしプラチナが供給不足という予測情報が広まるにつれて、欧米でもETF需要がポジティブに転じる可能性があり、そうなれば供給不足はますます深まることになるだろう。詳しくは「[プラチナ展望—2023年6月号](https://platinuminvestment.com/files/320927/WPIIC_Platinum_Perspectives_June_2023.pdf)」をご覧ください。



(@wpiicjapan)